

丹後 TANGO 普及センターだより

第36号

(令和7年3月発行)

〒627-8570

京都府京丹後市峰山町丹波 855
京都府丹後広域振興局農林商工部
丹後農業改良普及センター

電話 (0772) 62-4308

FAX (0772) 62-5894

丹後普及センター

検索



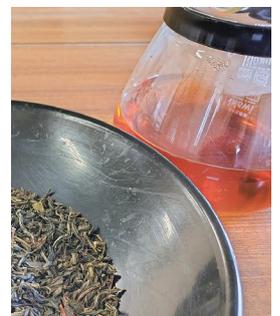
「丹後産和紅茶」
の挑戦

丹後地域では平成16年から茶の栽培を始め、煎茶やてん茶を製造しています。しかし、丹後地域での茶製造はあまり知られていないため、普及センターは福喜農園と協働して和紅茶の製造に挑戦し、京都府内外への丹後茶PRの推進を図りました。和紅茶は、日本で栽培された茶葉を原料にして製造された紅茶のことです。

茶工場にある既存設備を工夫して活用し、茶葉を発酵させて製造した初めての和紅茶は、お茶を注ぐと明るい赤色に輝く和紅茶に仕上がりました。取引先からは「香りが良い」と評価をいただき、「さらなる製造増量を期待する」と激励を受けました。

また、丹後産和紅茶の挑戦について知ってもらおうと、丹後農研施設公開や茶園・工場見学での来場者に対して、水出しの和紅茶を試飲いただきました。「渋みが少なく香りが立っている」「販売していたら買ってみたい」などのご意見をいただき、大変好評でした。

製造工程の見直しや摘採時期の調整といった課題は残りますが、丹後茶の可能性を広げられるよう、普及センターは茶農家の支援に引き続き取り組みます。



丹後農業の担い手紹介

日置の景観と活性化をめざして

私は、平成25年から農業を開始して現在12年目になります。それまで父と弟は農業を行っていましたが、私は専門学校を卒業後、10年以上建築士として働いていました。平成20年頃から父に農地が集積してきたこと、地元農家の高齢化による農地の荒廃が始ったことから、地域の農地やその環境を守るために一役かいたいと考え、33歳の時に新規独立して農業を開始しました。そして今年度から京都府の指導農業士になりました。

現在は水稲(食用と採種)4haの他に白ネギや花き(ヒオウギ、コギク、アスター)、ブルーベリーなど、計0.8haを栽培しています。農産物の販売先は、野菜は主にまごころ市や地元飲食店、花きはJA出荷です。

一昨年は白ネギで初期生育を良くしようとして、肥料や水を多く与えてしまい、根腐れや小菌核病が発生してしまいました。昨年はその反省を活かして施肥量や時期、かん水量を見直して対策することが出来ました。栽培上で壁に当たることもありますが、できるだけ自分で対策を見つけて対応しています。

今後は経営品目を整理する等自身の経営を見直しつつ、地域農業の活性化にも貢献したいです。また、若い農業者を育てて農業人口を増やすことで、日置の農業やその景観を守っていきたいです。



よしだ さとる
宮津市 吉田 悟さん

挑戦して経験を積む

高校卒業後、タキイ研修農場附属専門学校で2年間の農業実習を経て、20歳で就農しました。

現在、ハウス8棟でメロン、トマト、春菊の栽培を行っており、農繁期には母とアルバイト5人の体制で作業をしています。メロンは消費者から高い評価を頂いており、今年も生産量を上回る注文がありました。近々ハウスを増棟し、できるだけ早くお客様の要望に応え、経営強化に繋がりたいと考えています。

就農して6年目になり、メロン栽培ではある程度栽培面で自信を持って管理できるようになりました。しかし、果実に網目が入り始める頃からの管理はまだまだ経験不足を感じる事が多いです。ハウス内の温度・湿度管理に細心の注意を払って管理する必要がありますが、日々天候は変化しますし、ハウス毎に風の通りやすさが違うので環境制御は本当に難しいです。もしかしたら、完璧に出来たと感じることはないかもしれませんが、一方でそれが挑戦し甲斐の一つであると考えます。

今年から取引先の要望もありインスタグラム等のSNSを使った情報発信を始めました。皆様のフォローやいいねをお待ちしております。



つぼくら かずむ
京丹後市網野町 坪倉 知夢さん

自分で栽培した 農作物を地元の特産品に

大学卒業後、2年の研修を経て平成25年に就農しました。人とコミュニケーションを取りながら作業をすることが好きで、実家が農業をしていることもあり就農を決意しました。

主に水稲(コシヒカリ、祝)、九条ねぎ、小かぶ、なす、大根を栽培し、JA出荷しています。JA以外は地元のマルシェでの販売や料亭で出される料理に野菜が使用されています。また、地域の仲間とともにドローンの免許を取得して、水稲の仕上げ防除の作業受託もしています。

就農直後は、肥料計算をせずに肥料を撒いてしまったり、雑に種まきしてしまい発芽状態が悪かったりなど失敗がありました。そんなとき、普及センターに肥料計算やは種の仕方の指導を受けました。今では、1つ1つの作業を丁寧に行うことで、自分の納得するものが作れるようになりました。栽培を失敗したときは、どこがダメだったかをすぐに考え、改善することを心がけています。

今後は自分で栽培した農作物が“伊根町の特産品”となるように愛情を込めて栽培していきます。



ふじわら さちお
伊根町 藤原 幸生 さん

地域の農地荒廃を防ぎ、 獣害から守る

他業種からの参入で、当初は農業をする予定はありませんでしたが、近所の方から農地管理を頼まれて数年、ついに根負けして引き受けたのが就農のきっかけです。以来12年、現在は水稲(コシヒカリ、京の輝き、祝)14ha、九条ネギハウス2棟、キュウリ2棟の他カンショ(ベにはるか)を栽培しています。一方、猟師でもあり、獣害対策の面でも農地を守っています。

「まさ農園」の商品には、イラスト入りのシールを貼っています。自分を知る人たちにはクスッと笑える、知らない人には安心感を与える絶妙なイラストに加えて、わかりやすい商品説明に工夫しています。

地域の農業者の高齢化により、年々水稲経営面積は増えつつあり、集落内の担当エリアは広がる一方です。水稲苗は自家育苗なので生産枚数も増えます。条件のよくない中山間地域で大面積を管理するには限界もあり、地域で話し合っ解決策を探しています。



きむら まさのり
与謝野町 木村 正典 さん





普及センター 活動報告



近年、夏期の著しい高温のため、農業生産全般で障害が生じています。普及センターでは様々な対策に取り組んでおり、その中の事例をいくつか紹介します。

紫ずきんのかん水方法

黒大豆のエダマメである「紫ずきん」は丹後地域の特産品であり、京都府内の生産量の7.4%を占めます。しかし、近年の高温少雨は紫ずきんの莢数を減らすとともに、莢の肥大を遅らせて、生産量が減少しています。

普及センターでは、開花時の水分不足が着莢を遅らせる一因と考え、その時期にほ場の一部で十分なかん水を行い、着莢への影響を検討したところ、着莢が早まることはありませんでした。

一方、生産者間の着莢数の比較や他産地の事例調査から、水分を保ちやすい粘土質土壌や堆肥を活用した土づくり、頻繁なかん水などにより着莢を増やしている事例が見られて、土壌水分と着莢の関係を来年度も引き続き調査します。

今後も高温少雨の傾向は続くと考えられ、水稻の湛水と重なる時期には用水不足が懸念されることから、土壌そのものの保水性を高める緑肥栽培も合わせて検討する予定です。



エダマメのできばえを農家の皆さんと評価

超遅植えによるコシヒカリの高温対策

超遅植えによる品質向上効果を確認するため、6月25日に植えたコシヒカリの試験栽培を行いました。比較対照は5月21日植えコシヒカリ。調査は与謝野町石川地区で実施しました。

比較対照より36日遅れて田植えしましたが、登熟期間の気温は両区で差はみられませんでした。しかしながら、試験区の在ほ期間が22日短縮（登熟期間は6日短縮）されて、出穂後20日間の日平均気温が未熟粒発生限界の29℃を超える日数は、試験区では対照区と比較して10日減少しました。

試験区の10a収量は466kgであり、対照区442kgとほぼ同等でした。整粒率は76.6%(対照区58.2%)と向上しました。これは、基部未熟粒に12.3%の差が見られたのがその原因です。食味では白米の食味推定値は0.80(対照区と同じ)でした。

米粒品質調査の結果

%

	整粒計	未熟粒						被害粒			死米			着色粒	胴割粒
		乳白粒	基部未熟粒	腹白未熟粒	青未熟粒	その他	合計	碎米	茶米	合計	青死米	白死米	合計		
試験区	76.6	2.4	4.2	0.6	1.3	13.5	22.0	0.3	0.2	0.5	0.1	0.4	0.5	0.7	0.3
対照区	58.2	5.8	16.5	2.5	0	11.3	36.1	0.8	0.4	1.2	0.1	0.4	0.4	0.7	3.6

以上のように、遅く植えることによって登熟期間が6日短縮され、高温に遭遇する期間が短くなり、未熟粒の発生が抑制されたと考えます。コシヒカリの6月25日田植えは品質向上が見られ、高温対策と

して効果的と考えられました。地温が高い時期での田植えであり、地力窒素の発現が多く初期生育が旺盛になるので、弱勢分げつ抑制のための細植え(3本/株)が必要です。

超遅植えを実現するには、用水路の水回しや仕上げ防除等について地域の合意形成が必要となり実現には課題があるかもしれませんが、じっくりと話し合う時期がもう来ているのではないのでしょうか。

高温耐性品種「にじのきらめき」の現地普及試験

宮津無農薬米部会では、近年の夏期高温によりコシヒカリの白未熟粒の割合が増加し、一等米比率が低下しています。それを受けて普及センターでは、コシヒカリに代わる高温耐性品種として「にじのきらめき」(平成30年農研機構育成)を提案し、現地実証試験を実施しました。田植日は5月25日、実施場所は宮津市松尾の山間部です。

結果は、以下の表のとおりで、「成熟期はコシヒカリよりも8日ほど遅い」、「稈長がコシヒカリより短稈で倒伏しにくい」、「収量がコシヒカリより12%多い」、「味度値がコシヒカリより高い」でした。

栽培に協力いただいた生産者からは「コシヒカリと同等の品質で、かつ草丈が低くて倒れにくいのは他の部会員にも広めやすい。令和7年以降は施肥量を増やしてどこまで収量が増えるか、平野部ではどうなるか試してみたい」と好評でした。普及センターとしても引き続き生育状況の確認等支援を行っていきます。

収穫調査の結果

	出穂期	成熟期	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	千粒重 (g)	整粒重 (%)	精玄米重 (kg/10a)	倒伏 程度	味度値
にじのきらめき	8月7日	9月24日	66.3	22.2	234	25.7	75.45	464.2	0	87
コシヒカリ	8月4日	9月16日	79.7	22.1	264	23.2	75.65	412.9	2.5	77

※倒伏程度:0(無)~5(倒伏)

水稲の追肥作業の省力化「流し込み追肥」

普及センターでは、高温による登熟不良の対策として穂肥に着目し、労力負担が少なく短時間で簡単に追肥が行える「流し込み追肥」の効果検証を行いました。

流し込み追肥は落水後、水口に肥料を置き、入水時の水の流れを利用して肥料を溶かし、肥料成分を拡散させる追肥方法です。重い動力散布機を背負って歩き回ったり、水田の中に入って散布したりする必要はありません。今回は2か所のほ場で試験を行い、いずれも10分程度で肥料が溶け切り、追肥作業が完了しました。参加者からは「短時間で楽にできるので自分もやってみたい」と評価を受けました。一方で肥料成分の拡散については、ほ場内で濃度に差が生まれる結果となり、均一に施肥する方法に課題が残りました。

普及センターでは、流し込み追肥を手軽で効果的な追肥方法として確立するよう、今後も改良に努めます。



流し込み追肥の実証



柵による 鳥獣害対策

近年、管内の農作物に鳥獣被害が多発しており、今年は久美浜町の果樹園でクマによる食害、福知山市では農作業中に農家がシカに襲われて亡くなる事案が発生しました。

みなさんの地域でも正しい方法で鳥獣害対策を実施できているか、確認してみてください。自分の農地だけでなく、地域全体の農地を守るためにもしっかり対策を行いましょう。

食べ物探しに昼夜は関係なし！

電気柵は24時間通電を維持。接触時に必ずショックを与えることで危険な場所だと獣に認識させ、農地に近づきにくくしましょう。

ワイヤーメッシュ柵を補強！

柵の設置時に単管パイプを柵の下部に設置し、パイプごとアンカーで固定すると強度が増します。イノシシ等による裾部分からのくぐり抜け侵入を防ぎましょう。

秋と春先はシカの活動が活発化！

農地や自宅の庭先でシカを発見した場合、まずは落ち着いて行動して下さい。攻撃したり、威嚇するとシカが襲ってくる場合があります。早急に追い出す必要がある場合は、お近くの市町(市役所等)が窓口になりますので、ご連絡をお願いします。



認定・退任された農業士の皆様

新規認定 よろしくお祈いします

指導農業士 はたなか たかあき 畑中 孝昭 さん 京丹後市網野町

指導農業士 ふじわら さちお 藤原 幸生 さん 伊根町本庄上

青年農業士 やまの たくや 山野 琢也 さん 京丹後市網野町

退任 長い間ありがとうございました

指導農業士 しばの なおとし 柴野 直敏 さん 京丹後市網野町

指導農業士 ふじわら まさと 藤原 正人 さん 伊根町本庄上

青年農業士 おおえ ようすけ 大江 陽介 さん 京丹後市網野町

青年農業士 おかざき しょうご 岡崎 省吾 さん 京丹後市久美浜町

令和六年度 「京のプレミアム米」コンテスト 最高金賞を受賞

京都府では府産米の価値の向上を目的として、トップレベルの美味しいお米の発掘とPRをするために、「京のプレミアム米」コンテストを開催しています。

令和6年度のコンテストにおいて、京丹後市網野町郷地区の『郷のこめ研究会』のコシヒカリが最高金賞を受賞されました。



令和六年度 京都府農山漁村伝承優秀技能 「農の匠」認定者

ふじむら やいち
農の匠 藤村 彌市 京丹後市
匠名「飾り俵づくり」

京都府では、農山漁村伝承技能の登録者の中から、極めて優秀であり、将来にわたり伝承すべきと認められる技能保持者を「農・山・海の匠」と称し、認定証を交付しています。丹後管内で新たに1名の認定がありましたのでご紹介します。